

令和 7 年度事業報告書

社会福祉法人大里ふくしむら

＜総 括＞

令和 7 年度は、法人設立 20 周年という節目を迎え、理事長の交代等、経営陣の刷新を図りました。新たな体制で、変化の激しい時代に適応しながら、利用者にとって安心で快適な生活を提供し、持続可能な介護施設の実現に取り組んでおります。

経営面では、令和 7 年度は、食料品や光熱水費等あらゆる分野での物価高が著しく、施設の維持管理をしていく上でのコスト負担が経営に大きな影響を及ぼしました。また、特に、デイサービスでは感染症等の影響による利用控えがあり、収益減が見られた時期もありました。しかしながら、収益拡大プロジェクトチームの先導のもと職員が一丸となり、経営の安定を図るための改善・改革を行い、年度の後半は収益増に好転し、盤石な経営への回復が見られました。

人材面では、人材をどう確保、育成、定着させるかが施設運営の課題ですが、コスト負担を抑えながらも質の高い介護を維持するため、I C T活用による柔軟な働き方の実現を推進し、職員が働きやすい環境を整え、多様な人材の確保に努めました。

地域支援では、令和 7 年度は地元用土地区のいきいき百歳体操に参画し、社会福祉法人の使命である地域貢献事業にも積極的に取り組みました。

令和 8 年度も、引き続き、収益向上に向けた事業運営の改革、改善に取り組み、安定的な財源基盤の確立、人材確保及び人材育成並びに地域貢献事業の推進に努めてまいります。

＜主な事業実績＞

月	法人本部	特養・ショート	デイサービス	居宅介護支援	保育事業
4 月		経営会議・運営会議 各種委員会活動 カンファレンス(月 2 回) 花見外出	経営会議・運営会議 各種委員会活動	地域支援会議 カンファレンス お達者サークル	避難訓練 遠足
5 月	決算処理 監事監査	経営会議・運営会議 各種委員会活動 カンファレンス(月 2 回)	経営会議・運営会議 各種委員会活動	地域支援会議 カンファレンス お達者サークル	避難訓練
6 月	資産変更登記 現況報告提出 第 1・2 回役員会 第 1 回評議員会 (決算・事業報告) (新役員選任) (理事長・業務執行理事・施設長選任)	経営会議・運営会議 各種委員会活動 カンファレンス(月 2 回) 運動会	経営会議・運営会議 各種委員会活動	地域支援会議 カンファレンス お達者サークル	避難訓練 身体測定 プール開き
7 月	第 2 回評議員会 (初顔合わせ)	経営会議・運営会議 各種委員会活動 カンファレンス(月 2 回)	経営会議・運営会議 各種委員会活動 七タレク	地域支援会議 カンファレンス お達者サークル	避難訓練

8 月		経営会議・運営会議 各種委員会活動 カンファレンス(月 2 回) 納涼祭	経営会議・運営会議 各種委員会活動 施設内夏祭り 納涼祭	地域支援会議 カンファレンス お達者サークル	避難訓練
9 月	職員グラウンドゴルフ 大会	経営会議・運営会議 各種委員会活動 カンファレンス(月 2 回) 利用者健康診断 職員健康診断 敬老会 百寿のお祝い 消防避難訓練	経営会議・運営会議 各種委員会活動 職員健康診断 敬老会 消防避難訓練	地域支援会議 カンファレンス お達者サークル	避難訓練 身体測定 特養交流敬老会 遠足
10 月	寄居町民生委員視察	経営会議・運営会議 各種委員会活動 カンファレンス(月 2 回)	経営会議・運営会議 各種委員会活動 グラウンドゴルフ大会 運動会	地域支援会議 カンファレンス お達者サークル	避難訓練 運動会 児童育成協会 指導監査
11 月		経営会議・運営会議 各種委員会活動 カンファレンス(月 2 回)	経営会議・運営会議 各種委員会活動	地域支援会議 カンファレンス お達者サークル	避難訓練
12 月		経営会議・運営会議 各種委員会活動 カンファレンス(月 2 回) クリスマス会	経営会議・運営会議 各種委員会活動 百寿のお祝い クリスマス会	地域支援会議 カンファレンス お達者サークル	避難訓練 クリスマス会
1 月		経営会議・運営会議 各種委員会活動 カンファレンス(月 2 回)	経営会議・運営会議 各種委員会活動 初詣	地域支援会議 カンファレンス お達者サークル	避難訓練 お正月会
2 月		経営会議・運営会議 各種委員会活動 カンファレンス(月 2 回)	経営会議・運営会議 各種委員会活動 職員健康診断	地域支援会議 カンファレンス お達者サークル	避難訓練 節分 寄居町指導監査
3 月	第 3 回役員会 (来年度予算・事業計 画策定)	経営会議・運営会議 夜勤者健康診断 各種委員会活動 カンファレンス(月 2 回) 百寿のお祝い	経営会議・運営会議 各種委員会活動 消防避難訓練	地域支援会議 カンファレンス お達者サークル	避難訓練 ひなまつり 内科健診 歯科健診 卒園式

<職員の状況>

・在籍状況(令和8年3月31日現在／人)

	介護	看護	相談員	ケアマネ	管理栄養士	その他	合計
正社員	30	6	2	5	1	5	49
契約／パート	18	3	0	0	0	19	40
合計	48	9	2	5	1	24	89

・入退職状況(令和7年度／人)

	介護	看護	相談員	ケアマネ	その他	合計
入職	5	3	0	0	1	9
退職	9	2	0	0	4	15

<特別養護老人ホーム>

令和7年度の年間の延べ利用者数は28,411人(前年:28,159人)、年間平均稼働率は97.3%(前年:96.4%)と増加に転じました。年度前半はやや低調であったものの、収益拡大プロジェクトチーム等の営業活動が功を奏し、年度後半から稼働率が前年を大きく上回りました。また、空床率に大きく影響する入院者が、令和6年度は482人あったものが、令和7年度は167人と大きく減少し、稼働率の向上に貢献しました。

諸物価高騰の折りから、令和7年4月に、いわゆるホテルコストの価格改定を行いました。利用者負担段階第4段階の方で、居住費は変更前日額2,066円が変更後は2,300円に、食費は変更前日額1,445円が変更後は2,000円に、日常生活費は変更前日額200円が変更後は300円に、私物電化製品は変更前月額500円が変更後は日額50円にそれぞれ値上げとなりました。価格改定による利用者の退所は1人ありましたが、丁寧な説明により利用者の理解を得て、価格改定は、稼働率向上と併せ、収益向上に大いに寄与しました。

利用者の状態を見ると、要介護度の平均は3.76(前年:3.78)とわずかに低下しました。入所経路としては病院からの入居が全体の半数以上を占めており、退院後の行き先として期待されていることが伺えました。次に多いのが家庭からの入居であり、在宅での介護に限界を迎えた先の受け入れ先として期待されている様子も伺えます。今後は、医療機関の医療連携推進員、居宅介護支援専門員及び地域包括支援センター等との連携強化及び情報共有の早期化を図り、病院や在宅維持が困難な高齢者への受け入れ体制をより柔軟に構築してまいります。

・入退所状況(令和7年度／人)

入居元		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	病院	2	1	1	1	1	3	1	0	1	1	2	1	15
	老健	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
	他施設等	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	家庭	0	1	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	6
合計		2	3	4	3	2	4	1	2	1	1	3	1	27

退所先		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
退所	病院	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	他施設等	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	6
	死亡	2	2	3	1	4	2	1	1	0	0	1	2	19
合計		3	3	4	1	5	2	1	2	0	0	3	3	27

・稼働状況(特養のみ／人)

R7	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	2366	2416	2312	2421	2428	2287	2385	2320	2415	2426	2201	2434	28411
稼働率(%)	98.6	97.4	96.3	97.6	97.9	95.3	96.2	96.7	97.4	93.8	98.3	98.1	97.3
R6	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	2331	2452	2383	2358	2356	2309	2378	2295	2357	2340	2176	2424	28159
稼働率(%)	97.1	98.9	99.3	95.1	95.0	96.2	95.9	95.6	95.0	94.4	97.1	97.7	96.4

・入居期間(令和8年3月31日現在／人)

	1年未満	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年	5年以上	合計
入居中の利用者の在籍期間	23	20	8	4	4	19	78

・月別入院者(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	16	2	28	3	0	2	15	24	9	26	29	13	167
R6	30	19	6	41	68	31	70	64	78	50	22	3	482

・年齢／性別(令和 8 年 3 月 31 日現在／人)

	～ 64 歳	65 ～ 69	70 ～ 74	75 ～ 79	80 ～ 84	85～ 89	90 歳 ～	合計	平均	最低	最高
男	1	0	1	1	4	4	9	20	86.0	48	99
女	0	1	2	4	6	17	28	58	89.4	66	104
合計	1	1	3	5	10	21	37	78	88.6		

・要介護度(令和 8 年 3 月 31 日現在／人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均
男	3	2	1	9	5	20	3.55
女	0	7	12	22	17	58	3.84
合計	3	9	13	31	22	78	3.76

・受入れ地域(令和 8 年 3 月 31 日現在／人)

	男	女	合計	比率
寄居町・深谷市	17	48	65	83.3%
その他県内	1	7	8	10.3%
県 外	2	3	5	6.4%
合計	20	58	78	100%

・入居待機者状況(人)(令和 8 年 3 月 31 日現在／人)

要支援 1～要介護 2	要介護 3 以上	合 計
2	10	12

<ショートステイ(空床利用型)>

令和 6 年度より、ショートステイの運用を従来の定員型から空床利用型へと移行しました。令和 6 年度は、年間の空床延べ日数に対する稼働率は 18.6%でしたが、令和 7 年度は 53.4%と空床の半数以上を埋めることができました。しかしながら、空床型への移行により、当施設はショートステイの受け入れができていく施設との認識が居宅介護支援事業所等にあるようにも聞いております。その認識の払拭のため、関係機関を対象にホームページ等により「空床の見える化」を提供し、「いざという時に頼れる施設」を目指します。

また、空床期間の短縮には入院者の状況を的確に把握することが重要です。このため、利用者の症状にあった入院先選びや入院者へのこまめな状況確認を行います。

・稼働状況(ショートのみ)

R7	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延べ人数	0	12	3	2	0	12	25	28	56	44	22	23	227
空床延べ日数	34	64	85	57	52	101	74	59	27	21	39	46	659
稼働率(%)	0	18.7	3.5	3.5	0	11.8	33.7	47.4	207.4	209.5	56.4	50.0	53.4
R6	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延べ人数	12	15	10	3	18	35	18	27	19	18	11	8	194
空床延べ日数	69	28	17	122	124	91	102	105	123	140	64	56	1041
稼働率(%)	17.3	53.5	58.8	2.4	14.5	38.4	17.6	25.7	15.4	12.8	17.1	14.2	18.6

<委員会活動等>

・入居検討委員会

受け入れ状況としては、病院からの入所が 56%、在宅及びその他入所(老健・他施設等)からの入所が各 22%と、前年と比較して病院からの入所割合が大きく増加しました。

令和 8 年 3 月時点での待機者は 12 人と、令和 7 年 3 月時点と比べ、3 人増加、特に、要介護 3 以上の重度者の待機が 5 人から 10 人と大きく増加しました。

・行事レク委員会

「利用者・家族・職員が共に楽しめる行事の創出」をテーマに、感染症流行への対応と並行しながら、施設全体で心のこもった行事の実施に努め、季節に応じた施設内外でのイベント、納涼祭、敬老会、クリスマス会を実施しました。

また、7 月及び 3 月には、百寿のお祝いを御家族と共に盛大に行い、当施設では 104 歳を筆頭に、100 歳を超える方が 4 人元気に過ごされております。

・安全対策委員会

安全備品・機器の管理体制として、「眠りスキャン」や「センサーマット」など、転倒リスクの高い方への優先使用を徹底し、不要な二重使用を避け、ユニット間での連携や相談の上で有効活用する体制を整備しました。リスクマネジメント研修として、「入浴時事故」に関するリスクマネジメント動画研修を実施し、全職員に対して動画視聴+アンケート提出を行いました。

- ・身体拘束廃止委員会／虐待防止委員会

身体拘束をやむを得ず実施している入居者は今年度末時点で介護度の重症化により 10 名になりました。利用者の尊厳を守るケアの一環として、「身体拘束ゼロ」の実現を目指し、また、虐待防止に関しては「気付き」や「報告しやすい環境」を維持する職場風土づくりを意識しました。「身体拘束廃止」「スピーチロック」に関する動画視聴研修を行い、新入職員等には個別に指導・助言を実施しました。

- ・感染症対策委員会

新型コロナが 5 類に移行したものの、夏以降は定点観測値が警戒レベルを超え、当施設では、10～11 月には新型コロナウイルス及びインフルエンザによるクラスター（利用者 6 人・職員 3 人）が発生しました。これにより B C P（業務継続計画）が発動され、利用者の安全確保、サービスの継続及び職員の安全確保に配慮した感染防止対策を行いました。

また、感染症対策マニュアルの随時見直し、ガウンテクニックの研修及び必要物品の在庫確認及び発注を行い、重症化させない感染症対策に努めました。

- ・衛生委員会

労働安全衛生法に基づき、産業医の指導のもと毎月 1 回開催し、職員の健康診断、ストレスチェック等による各種メンタルヘルス対策、感染症予防対策、腰痛予防等の労働安全衛生対策について議論し、対策を講じました。腰痛予防対策としては、介護リフトや移動ロボットを埼玉県介護テクノロジー補助金により購入し、中腰作業時での活用を推進しました。また、照明の L E D 化を行い、作業環境の向上を図りました。

- ・収益拡大プロジェクト

令和 6 年度より、新たに「収益拡大プロジェクトチーム」が発足し、法人の収益構造の見直しと持続可能な経営基盤の確立を目指して活動を展開しました。特養・デイサービス、それぞれにターゲットを分けた P R チラシや販促グッズのメモ帳を活用し、定期的に関係機関を訪問するなどの P R 活動を行いました。また、各種加算の取得やホテルコスト（居住費・食費等）の価格改定の検討を行い、ホテルコストの値上げは、利用者の増加と共に、収益の増加に大きく貢献しました。

<デイサービス>

令和 7 年度のデイサービスにおける 1 日平均利用者数は 20.0 名となりました。年度始めは冬季からのインフルエンザや新型コロナウイルスなど感染症の外的要因の影響を大きく受け、体調不良による欠席や利用控えの傾向が見られましたが、収益拡大プロジェクトチームによる居宅介護支援事業所等への情報発信、フレキシブルな利用時間や送迎対応など利用者のニーズに応じた個別対応が功を奏し、夏以降は 1 日平均利用者数が 20 人を超え、好調な運営に回復しました。

サービス面では、デイサービス開設以来3人目となる百歳を迎えられた利用者の長寿のお祝いを実施しました。当日は、御家族も参加し、スタッフによる手作りの飾り付けや記念品を用意し、利用者・家族・職員が一体となった心のこもった温かいセレモニーを開催することができました。こうした節目の行事を通じて、利用者の生活に彩りを添えるとともに、家族とのつながりを大切にする支援の実現に努めました。

・利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ 人数	449 (546)	485 (540)	462 (472)	521 (499)	489 (428)	533 (451)	579 (489)	512 (471)	544 (385)	511 (456)	543 (412)	572 (448)	6200 (5597)
営業 日数	26	27	25	27	26	26	27	25	26	25	24	26	310
1日 平均	17.3	18.0	18.5	19.3	18.8	20.5	21.4	20.5	20.9	20.4	22.6	22.0	20.0

※（）内は令和6年度

・要介護度(令和8年3月31日現在／人)

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	1	0	9	5	2	1	1	19
女	1	3	20	9	8	4	3	48
合計	2	3	29	14	10	5	4	67

・年齢別(令和8年3月31日現在／人)

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
男	0	0	0	2	4	10	3	19
女	0	0	2	2	8	12	24	48
合計	0	0	2	4	12	22	27	67

・地域別(令和8年3月31日現在／人)

	寄居町		深谷市	美里町	その他	合計
	用土地区	その他				
利用者数	22	40	3	2	0	67

＜居宅介護支援センター＞

令和7年度は、職員1名の入職により支援体制の強化を図り、安定した事業運営に努めました。利用件数についても前年度を上回り、地域における居宅介護支援事業所としての役割を果たすことができました。

また、地域貢献活動の一環として、介護予防サポーター研修やいきいき100歳体操への参加を行い、活動を通じて、地域住民、行政機関、関係機関との連携強化に繋がり、地域における相談支援体制の構築を進めることができました。地域の高齢化に伴い、介護に関する相談件数も増加しており、早期相談・早期支援に繋がる機会が拡大しています。今後も地域との連携を深めながら、利用者及び家族が安心して在宅生活が継続できるよう、質の高いケアマネジメントの提供に努めていきます。

・要介護度(令和8年3月31日現在／人)

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	1	1	13	11	7	2	3	38
女	5	5	25	13	8	11	4	71
合計	6	6	38	24	15	13	7	109

＜保育事業＞

令和7年度は0～2歳児が大半を占める構成で、少数制ならではの丁寧な関わりと、きめ細やかな保育環境の中で、家庭的な雰囲気大切に運営を継続しています。

4～5歳児は、遊びや生活の中で「自分でやる」「自分で考える」といった姿がより多く見られるようになり、子どもたちが自ら行動し、自信を持って過ごす場面が増えてきたことに大きな成長を見る機会が増えました。

・保育児童数(令和8年3月31日現在／人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
男児	2	3	1	0	2	0	8
女児	3	1	0	0	1	1	6
合計	5	4	1	0	3	1	14

※職員枠:2名、地域枠:12名

<研修事業>

令和7年度は、施設内での研修を中心に行いました。令和8年度は、更に質の高いサービスを提供するため、他施設の見学研修を積極的に推進します。

	研修名	主催	場所
4月	BCP研修	BCP委員会	施設
9月	看取り研修 防災訓練	感染症委員会 深谷消防署	施設
10月	国際福祉機器展研修	一般社団法人保健福祉広報協会	東京ビックサイト
1月	認知症・BPSD研修	大塚製薬・中央薬局	上柴公民館
2月	感染症対策研修	感染症委員会・ユニチャーム	施設
3月	防災訓練	深谷消防署	施設